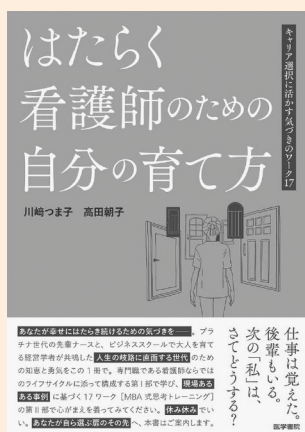


今月の

5冊



はたらく看護師のための 自分の育て方

キャリア選択に活かす気づきのワーク17

川崎つま子、高田朝子=著

発行：医学書院

定価：2200円（本体2000円＋税10%）

看護マネジメントのプロとマネジメント学を研究する教授がタッグを組み、人生の岐路に直面する世代を応援するべく知恵と勇気を伝授する。第Ⅰ部では、意思決定のときに落ち着いて課題に向き合える心がまえを学ぶ。第Ⅱ部においては、現場でよくある事例についてMBA式思考トレーニングのワークで思考を鍛える。はたらく看護師のための自己啓発書だ。

病気と治療の文化人類学

波平恵美子=著

発行：筑摩書房

定価：1320円（本体1200円＋税10%）



「医療人類学」を提唱した38年前の画期的著作を文庫化。どれほど科学が発達しても避けられない病気に對し、人は関心を寄せ、さまざまな意味づけを行ってきた。シャーマニズムと病気、明治期のコレラ流行による社会的混乱、ユタによる治療の実態など、多様な事例とともに、病気はどのような社会的・文化的意味を持つかに焦点をあて、論考する。

災害と性暴力

性被害をなかったことにしない、させないために。

小川たまか、長江美代子、中野宏美、

原田奈穂子、草柳和之=著

発行：日本看護協会出版会

定価：990円（本体900円＋税10%）



過去の大震災時に性暴力被害はあったが、重く受け止められはしなかった。本書は実態を明らかにし、メディアの伝え方、性暴力対応看護師の支援、撲滅啓発活動を続けるNPOの視点、被害者支援・加害者更生プログラムを実践するカウンセラーの指摘など、災害と性暴力を多面的に捉える。同じことを繰り返さないために、私たちは何をすべきなのか。

認知症plus 緩和ケア

症状緩和とスピリチュアルペインへの対応

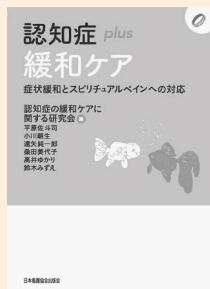
認知症の緩和ケアに関する研究会=編

平原佐斗司、小川朝生、遠矢純一郎、

桑田美代子、高井ゆかり、鈴木みずえ=著

発行：日本看護協会出版会

定価：3300円（本体3000円＋税10%）



認知症の初期段階から、身体的・精神的な痛みとスピリチュアルペインに對応した緩和ケアの必要性が語られるようになってきた。本書は、疾病の軌跡を踏まえたステージ別の緩和ケアやスピリチュアルペインを緩和するための意思決定支援、家族への支援など、包括的なアプローチ方法を提示する。

ケアする惑星

小川公代=著

発行：講談社

定価：1760円（1600円＋税10%）



「いつか地球が〈ケアする惑星〉の名にふさわしい場所になることがあれば、それは「ケアする人」が大切にされるときだろう」。女性たちが担うケアをめぐるさまざまな葛藤や現象を、キャロル・ギリガンなどの言説を手がかりに、『アンネの日記』やヴァージニア・ウルフ、オスカー・ワイルドなどの文学作品を媒介に、多面的な視点から論考する。